

会 議 議 事 録

会 議 名	令和4年度 第1回 学校関係者評価委員会	専門学校 東京工科自動車大学校品川校
開催日時	2022年7月7日(木) 17時30分～19時10分	
会 場	専門学校東京工科自動車大学校品川校 32教室	
参 加 者	委員 (敬称略)	7名 (出席:6名) 稲垣正義、酒井崇、西岡竜一郎、木下昌明、大槻明子、間島和明 (欠席:1名)兼松邦明
	事務局	3名 佐藤康夫、澁谷健、市川隆由
会 議 録	<p>1. 校長挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> 開催に向けて校長の佐藤より挨拶があった。 学校関係者評価委員会の成り立ち及び近況に関する概略報告 続いて副校長 澁谷より着任挨拶ならびに自己紹介があった。 <p>2. 委員会成立の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> 事務局より委員会メンバーの出欠(7名中6名出席)確認がなされ、本委員会の成立が承認された。 <p>3. 学校関係者評価委員および事務局メンバーの確認と議長選出</p> <ul style="list-style-type: none"> 本委員会の成立を受け稲垣委員が議長、酒井委員が書記として選任された。 	
審議事項	<p>4. 議事</p> <p>議案1. 前回議事録の確認</p> <p>事務局(澁谷)より前回議事について配布資料Bに基づき説明。 議案1について各委員により承認された。</p> <p>議案2. 2021年度 自己評価結果について</p> <p>事務局(佐藤)より配布資料Cに基づいて実績報告がなされた。 前年度に比べ退学者が減少し研修会への参加が増加したことはプラス要因である。 議案2について各委員により承認された。</p> <p>議案3. 2021年度事業計画、実績報告(佐藤)</p> <p>事務局(佐藤)より配布資料Cに基づいて以下の実績報告がなされた。</p> <p>①2021年度就職実績の報告</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎年8月末100%達成の目標を掲げ、各科とも以下の結果となった。 1級科:8/末 100%達成 整備科:11/末 100%達成 HD科:8/末 100%達成 	

・1級科では海外で活躍できる企業への就職目標を30%とし、結果として4名(33%)が達成した。

②2021 年度募集実績

- ・資料に基づき各科毎の募集実績について説明した。
- ・整備科、HD科については概ね目標値を達成した。
- ・1級科は目標達成に至らず。要因として1級整備士のステータスを伝え切れてなかった。
- ・コロナ禍で留学生の入学数が激減、全体への影響も大きかった。

③2021 年度国家資格合格実績

- ・2級:97.5% 目標値 100%を若干下回ったが大きな問題は生じていない。
- ・1級:筆記 91.7%、口述 100% 概ね目標を達成した。

④2021 年度進級・卒業・退学実績

- ・退学率を5%に設定、早期問題発見に努め退学者の減少に繋がった。結果 4.9%(目標達成)

⑤2021 年度実績 学生研修&教職員FD

- ・コロナ禍が継続し研修会開催も限定されたが参加実績としては前年を上回った。
- 議案3 について各委員により承認された。

4. 報告事項 2022 年度事業計画と取り組み内容

事務局(佐藤)より以下の報告がなされた。

①数値目標

就職率、資格取得率、進級・卒業率、退学率、出席率、履修管理、AG評価、学生アンケート等の教務課題と見学・出願率、1級科編入目標を定め人事評価、校評価の評価値として取り組んでいる。

②募集目標

反応者数から目標値を定め、見学者数と見学出願率向上に向けて取り組んでいる。
本年度は1級科11名、整備科15名、HD科23名 合計49名入学を目標値として定めた。

③就職目標

昨年同様の目標値を掲げ取り組んでいる。
6月末時点で1級科:100%、整備科:78%、HD科:86%の実績及び途中経過となっている。

続けて、事務局(渋谷)より以下の報告がなされた。

①無償化機関要件、職業実践専門課程の公開情報に関する進捗状況の報告

②2022 年度事業計画について主な年間スケジュールを中心に説明した。

6. 意見交換

- ・募集計画についてコロナ禍での留学生激減に対する改善は見込めるのか？

⇒日本語学校での現地オンライン日本語教育への取り組み、来日後1年での卒業扱い等の取り組みが行われている。コロナ禍以前の状況に戻るのは2027年(5年間を要す)との見方もあり一気の回復とはなり難い状況にある。現地にいる留学生、日本語学校への情報提供を強化しさらに踏み込んだ日本語学校との連携強化を進めている。

会議風景

・当社での女性スタッフの活躍、意識の変化を感じている。学校における教育の成果と捉えている。

・1級整備士資格取得者について企業での人事評価向上に向けて対策はあるのか？

⇒国の制度として1級資格取得者に対する差別化を提案するも業界からの反発も強く抜本的な改善までには至っていない。しかしながらこれからの時代のトレンドとなること、必要な技術習得となることは必須と捉えている。

・女子学生の就職先として、整備職以外での自動車業界への就職は？

⇒直接整備に携わらなくとも業界では自動車の知識を有した人材は必要とされており求人先はあり得る。

・その後、SNSの活用、発信力向上については改善されているか？

⇒動画作成とYoutube 配信への取り組みで改善を図っている。

委員の中でも、配信を確認したとの意見。

・コロナ禍でありながら学生が元気に取り組んでいる姿が伺え好感を抱いて見ている。

・前年に比べ当年度の就職状況がスロースタートとなっている点が気掛かりであるが、今後に向けて改善等方策はあるか？

⇒多少の遅れ傾向は見られるものの慎重に取り組んでいる結果であるとも言える。特に、留学生の就職指導に手間を要し内定が遅れてしまう点が要因として上げられる。課題として語学力の強化、面接対応等の指導に取り組み自動車運転免許の早期取得を推進している。

【現在の取り組み】

・コロナ禍でありながら学内での感染拡大はなく、教務スケジュールは順調に推移している。

・感染対策も継続して取り組んでいる。

・本年度も長野実習を中止とした。

・資格制度の改正があり国家試験の受験日の前倒し、年度内に結果が出るべく従来のスケジュール変更を国が検討しており、将来教務スケジュールの進行について年間計画を見直すことが考えられる。

<事務局連絡>

・次回会議日程 2022年11月2日(火)17:30開始

於:東京工科自動車大学校品川校 教場

以上の報告および連絡事項を以て委員会を終了した。



学校法人小山学園 職業実践専門課程
「自動車系学校関係者評価委員会」
令和四年度 第一回
学校関係者評価委員会
三階 三十三教室

以上